

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
27-136	高等学校	外国語	英語会話	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
226 チアーズ	英会・305	ATLANTIS English Conversation		

## 1. 編修の趣旨、及び留意点

一 外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するために、実際の言語使用場面や言語の働きに留意した。特に外国語を日常使用している人々にとって「自然な英語表現」を導入することに重きを置き、本書の英語に触れることで、生きた英語が身に着きやすいよう意を用いた。また、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの基礎的・基本的な力を、繰り返し学ぶことで定着するよう構成した。

二 レッソンの主題となるトピックを入念に選定した。生徒の日常に身近な題材を選ぶことで、興味関心を高めつつ、身近な話題について会話する能力を養うことをねらいとする。また、題材に触れることで、様々な価値観に出会い、国際社会に生きる日本人としての自覚を高め、自分の意見を表現し、社会に参画できるような態度が育成できるよう工夫した。

## 2. 編修の基本方針

教育基本法第二条の目的を達するために、以下を編修の基本方針とした。

一 言語の特性を幅広く学びながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成できる内容とする。

二 多様な価値観を学んだり、その内容を他者と交換し合ったりすることやペアワーク等で、互いの意見が尊重される経験を積み重ねられるよう留意する。

三 英語の実用性等を学ぶ中で、自他の違いを重んじる態度を育み、主体的に社会に貢献しようとする態度を養える内容とする。

四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を育成するため、世界を舞台とした題材を展開することで、視野を広げることができるようにする。

五 進んで外国の文化を理解しようとする態度を育成するとともに、国際理解や国際感覚を養い、国際社会に関心が持てるような内容を厳選する。

### 3. 対照表

#### A. 目次順にそった対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Natural English Classroom English Introduction Questions	教室でよく使う表現についてまとめた。(1号)	表紙見返し、巻頭 v、viページ
Lesson 1 – I like meeting new people. 自分自身について話し、相手について知る	自分自身について、身近なことから表現できるよう段階を踏んだ。「空いている時間に何をするのが好きか」という問いかけを中心に自他共に質問する活動を行う。新学期、新しい友人関係や学級づくりにふさわしいような題材を選んだ。(1号)	1～ 6ページ
Lesson 2 – I usually wake up at 7:00 in the morning. 日課を説明する	自分自身の日課について英語で表現する。自分自身のことについてより詳しく表現できることは、コミュニケーションが長く続くための自信にもつながる。まとめのグループワークを通して、協調性を養えるよう意を用いた。(3号)	7～ 12ページ
Lesson 3 – We're going to take a trip. 未来について話す	予定についてたずねあう活動を通して、自分自身のことについて表現することから、ペアワーク活動、さらに実際に旅行に行っていることを仮定した問題に挑戦する。まとめに、英語を実際に使うであろう使用場面とその時使われる旅先での表現について学べるよう段階を踏んだ。(1号)	13～ 19ページ
Let's sing a song. My grandfather's clock.	英語の歌を通して、より英語学習に興味関心が持てるよう意を用いた。(1号)	20～ 22ページ
Lesson 4 – How about going to a party? 招待、承諾、拒否をする／趣味について話す	友人や家族との日常の中で、誘ったり誘われたりすることはよくあることである。ここでは、誘い方だけでなくその応答も同時に学ぶことで、円滑なコミュニケーションが続く方法が学べるよう留意した。(1号)	23～ 28ページ
Lesson 5 – You should take off your shoes. アドバイスをする／文化の違いについて話し合う	基礎的・基本的な助言の表現について学ぶ。まとめに、外国人男性が日本人女性の家に訪問しその両親に会うという場面を設定し、生徒はなりきって演じつつ、同時にアメリカと日本の文化的背景の違いも学べるよう配慮した。(5号)	29～ 34ページ
Lesson 6 – We are not allowed to color our hair.	特に、学校生活や社会生活の中で規範を守ることは大変重要なことである。ここでは、その表現を生徒にとって	35～ 41ページ

アルバイトやスポーツのルールについて話す	身近な題材やスポーツのルールを介して「してはいけない」ことのニュアンスの違いについても学ぶ。公共の精神に基づき、規範を守る意識も高められるよう配慮した。(3号)	ジ
Take a break and socialize 質問をしてクラスメートについて発見する。	レッスン1～6までに習った表現を用いて、総合的に表現できるような活動になるよう意を用いた。(1号)	42 ページ
Lesson 7 – How was your vacation? 過去について話す	過去に起きたことについて質問し合う表現について学ぶ。よく使われる表現に絞って導入した。子供時代について振り返る題材も取り入れた。よく使われる表現を学ぶことによって、身近な話題についてより英語で表現できることで自己表現が広がるよう工夫した。(1号)	43～ 50ペー ジ
Lesson 8 – I used to live in America. 子供時代について話す	過去によくしたことについての表現を学ぶ。まとめに、自分自身が65歳であると仮定して息子や娘、孫に伝えたいことについて表現する。これらの活動を通して、生徒1人1人が今の自分と対比して内観が深まることを期待する。(1号)	51～ 56ペー ジ
Lesson 9 – What were you doing on Christmas Eve? 何か起こった時にしていたことについて説明する	「地震が起きた時に何をしていたか」という日本の生活ではよく起こりうる表現について学ぶ。特に東日本の生徒にとっては配慮を要する題材かもしれないが、外国人からはよく聞かれる質問であることも想定し、社会生活において必要なこととし紹介した。「地震」をキーワードに自然や天災、生命の尊重等の理解が深められるよう意を用いた。(4号)	57～ 62ペー ジ
Let's sing a song. Jingle Bells	英語の歌を通して、より英語学習に興味関心が持てるよう意を用いた。(1号)	63～ 64 ページ
Lesson 10 – Who is the funniest person in your school? 比較とベストとワーストな事柄について話す	「より～」「一番～」という表現について様々な場面を設定し、会話力を定着させることをねらいとする。先生や友人に質問する場を多く持ったので、相手や友人、学級についてより深く知ることができる機会にもなる。また、相手の意見に対して同意や反対する表現も学ぶことで、社会生活に必要な会話力も身に着くよう配慮した。(3号)	65～ 72ペー ジ
Lesson 11 - How long have you played the piano? 経験について話す	「今まで～したことはありますか。」という表現は、友人同士でよく使われる表現であるとともに、日本を訪れた外国人に対してもよく使われる表現であることを留意し、2つの場面を設定した。また、「いつから／どれくらい	73～ 80ペー ジ

	の間) ~している。」という表現も導入し、コミュニケーションに幅が持てるよう意を用いた。(1号)	
Lesson 12 - I wish I were rich. 願望を表現する	「~だったらいいのになあ。」という現在の事実と異なることを願う表現について学ぶ。様々な場面に応じた表現を学び基礎的・基本的な力を身に付け、まとめに自分自身のことについて表現することに挑戦する。本レッスンの最後の課でもあるので、1年間を通し、自分の英語力がどれぐらい伸びたかなども実感できるよう期待する。(1号)	81～ 85ページ
Additional Activities 道案内、レストラン、ジェスチャー、意見 VS. 事実、発音	海外での会話であることを想定し、よく使われる表現について特記した。また、ジェスチャーについても紹介し、幅広い知識が身に着くよう意を用いた。(1号) 発音を図と簡単な解説でイメージ化して学ぶ。図、写真、簡単な説明を使用し、できるだけシンプルにした内容の英文で発音指導ができるよう意を用いた。(1号)	86～ 101ページ
Word list Translation Natural English	学習した内容への理解が深まるよう一覧化した。(1号) 生徒の学習のサポートになるよう和訳を載せた。(1号) より英語学習に興味関心が持てるよう、よくある間違いと正しい答えについて示した。(1号)	102 ～107 ページ

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
27-136	高等学校	外国語	英語会話	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
226 チアーズ	英会・305	ATLANTIS English Conversation		

## 1. 編修上特に意を用いた特色

### 特色1・繰り返しによる学習。

身近な話題について英語で会話する能力を養うため、よく使われる表現を選出した。基礎的・基本的な知識・技能をしっかりと身に付けさせるため、導入から展開へ、少しずつつながりや広がりを持つよう意を用いた。例えば、はじめは基本文型を用いたごく簡単な表現を用いて自分自身のことについて述べ、その後、友人や先生に質問し、まとめには実際に起こりうる場面を想定し、生徒になりきって演じてもらえるよう興味深い問題になるよう工夫した。重要表現がレッスンに1度だけではなく、何度も出てくるよう、かつその表現が外国語を日常使用する人々にとって自然な表現であることに重きを置いて構成した。

### 特色2・段階を迫った発展的な問題。

学んだ内容を、個人からペアワーク、3～4人のグループワーク、そしてクラス全体で意見交換できるような構成とした。少しずつ発展的な問題に取り組むことによって、自ら考え、判断し、表現する力が身に着くよう、またその過程で少しずつ外国語学習に自信が持てるよう配慮した。

### 特色3・継続的な学習意欲の育成。

自主的に学習に取り組み、外国語に興味・関心が強まるよう、外国語を使用している人々を中心とする世界の人々やその世界観をふんだんに味わうことができるような内容を選んだ。視覚に訴える写真、図、題材、問題等が、学習意欲を継続させることを期待する。

### 特色4・会話を意識した展開。

英語表現を覚えたり表現できるようになったとしても、相手の目を見て話せなかったり、対話の相手との距離が遠すぎたりしては真のコミュニケーション能力が身についた、とは言いがたい。全レッスンを通して、アイコンタクトを意識させ、また相手の意見を受け入れるという聞き手の態度も養いたい。生徒にとって身近な題材を選定したことで自他共に会話の内容に興味を持ち、会話を続けたい、さらに聞き出したい、と思えるような力が身についていくことを期待する。

## 2. 対照表

### A. 各レッスンにおける構成とその対照表（1レッスンにおける授業時数）

※必ずしもこのパターンを取っているわけではなく、以下の要素が各レッスンに順不同で取り入れられていることを本書の特長として記す。様々なコミュニケーションスタイルに対応する力を身につけるため、様々な演習を取り入れた。なお、1レッスンは5時間の構成となる。

※どのレッスンにおいても、「アイコンタクト」を意識して取り入れた。特に留意したい点は記した。

顔を上げて話すことの重要性について学ぶとともに、習慣化することでさらなるコミュニケーション能力が高まることをねらいとした。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Conversation	内容（１）ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどを場面や目的に応じて適切に答える。 内容（２）ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 内容（２）イ 繰り返しを求めたり、言い換えたりするときなどに必要となる表現を活用すること。	各 レ ッ ス ン 内	5
Getting to know your teacher and classmates	内容（１）イ 関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりする。		
Vocabulary	内容の取扱い（３） 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し、定着を図るものとする。		
Grammar	内容（１）ア 相手の話を聞いて理解するとともに、場面や目的に応じて適切に応答する。 内容の取扱い（２） 読むこと及び、書くこととも有機的に関連づけた活動を行うことにより、聞くこと及び話すことの指導の効果を高める工夫をするものとする。 内容の取扱い（３） 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し、定着を図るものとする。		
アイコンタクト	内容（２）ウ ジェスチャーなどの非言語的なコミュニケー		

	ジョン手段の役割を理解し、場面や目的に応じて適切に用いること。		
実践的な言語活動	内容の取扱い（１） 中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、実際の会話に即した言語活動を多く取り入れながら、聞いたり話したりする能力の向上を図るよう指導するものとする。	特に、16～17、18～19、32～33、42、49～50、56、71～72、85ページ	
海外での生活に必要な基本表現	内容（１）エ 海外での生活に必要な基本的な表現を使って会話する。 内容（２）イ 繰り返しを求めたり、言い換えたりするときなどに必要となる表現を活用すること。	特に、18～19ページ、86～95ページ	
		計	5

#### B. 目次順にそった対照表（年間指導時数）

※各レッスンについては、内容は上記の通りのため、ここでは主要文法項目のみを記載する。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
Natural English Classroom English Introduction Questions	内容（１）ア 相手の話を聞いて理解するとともに、場面や目的に応じて適切に応答する。	表紙見返し 巻頭v、viページ	1
Lesson 1 – I like meeting new people 自分自身について話し、相手について知る	不定詞 動名詞	1～ 6ページ	5
Lesson 2 – I usually wake up at 7:00 in the morning. 日課を説明する	頻度に関する副詞	7～ 12ページ	5
Lesson 3 – We're going to take a trip. 未来について話す。	be going to を使った未来表現	13～ 19ページ	5
Let's sing a song – Old grandfather's clock. 英語の歌や文化的背景に慣れ親しむ	内容（２） リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。	20～ 22ページ	適宜

Lesson 4 – How about going to a party? 招待、承諾拒否をする／趣味について話す	提案の基本型	23～ 28ページ	5
Lesson 5 – You should take off your shoes. アドバイスをする／文化の違いについて話し合う	アドバイスの基本型	29～ 34ページ	5
Lesson 6 – We are not allowed to color our hair. アルバイトやスポーツのルールについて話す。	許可の基本型	35～ 41ページ	5
Take a Break and Socialize.	Lesson 1～6 の復習	42 ページ	1
Lesson 7 – How was your vacation? 過去について話す	過去形 was / were/ did	43～ 50ページ	5
Lesson 8 – I used to live in America. 子供時代について話す	I used to と過去形	51～ 56ページ	5
Lesson 9 – What were you doing on Christmas Eve? 何か起こった時にしていたことについて説明する	過去進行形、while/during	57～ 62ページ	5
Let's sing a song – Jingle Bells. 英語の歌や文化的背景に慣れ親しむ	内容（2） リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。	63～ 64ページ	適宜
Lesson 10 – Who is the funniest person in your school? 比較とベストとワーストな事柄について話す	比較級／最上級	65～ 72ページ	5
Lesson 11 – How long have you played the piano? 経験について話す	現在完了形	73～ 80ページ	5
Lesson 12 – I wish I were rich. 願望を表現する	仮定法	81～ 85ページ	5
Additional Activities 道案内、レストラン、ジュース	内容（1）エ 海外での生活に必要な基本的な表現を使っ	86ページ、 101ペー	8



チャー、意見 vs. 事実、発音	て会話する。	ジ	
Word list Translation Natural English	内容の取扱い（3） 生徒の実態に応じて、多様な場面における 言語活動を経験させながら、中学校や高等 学校における学習内容を繰り返して指導 し、定着を図るものとする。	102～ 107ペー ジ	適宜
		計	70